田川市立病院 NEWS LETTER

ニュースレター VOL.32

特集 コロナ禍の医療

2021年 冬号

◆ 基本理念 ◆

病む人に寄り添い、
安全・安心な医療を提供し、
「選ばれる病院」を創ります

- 患者に選ばれる
- かかりつけ医に選ばれる
- 働きたい職場として選ばれる

病院への期待と使命を踏ん張る力に

新型コロナの苦境を乗り越える。

新年を迎えて

令和3年1月12日　病院長　松隈　哲人

あけましておめでとうございます。昨年は世界全体が新型コロナウイルス感染症に振り回されました。

日本国内では初めて感染が確認されたのが昨年の1月16日でした。それから1年の間に私たちは3度の「感染の波」を経験しましたが、その波は回を増すごとに高く、大きくなっており、現在の第3波では福岡県内の1日の感染者数も100人以上が当たり前になっています。現在は、感染対策が周知され、かなりの程度実施されていますが「コロナ慣れ」により緩んでいる場合があることや冬という季節、さらにウイルスが変異し感染力が高まっていることなどが関係していると考えられます。

欧米では昨年12月からワクチン接種が始まりましたが日本では2月下旬頃から開始されるようです。アメリカでワクチンを接種した人のうち21人にアナフィラキシーと呼ばれる激しいアレルギー反応が出たと日本のニュースで報道されました。21人という数字だけを取り上げてしまうと怖くなりますが、190万人に接種した上での話であり、21人ではなく0.0011%と言うべきです。ワクチンに限らず薬剤には副作用・副反応はつきものですが、この数字は合格点だと思います。ただ、長期的に見た場合の効果の持続期間など未知数の部分もあります。

また、ワクチン開発に詳しい専門家の中には「どんなにワクチンが有効でも、接種が始まってから流行を抑える効果が出始めて、さらにその効果が実感できるようになるまでには4〜5年は様子を見る必要があると考えられる。“最近、コロナの感染を見なくなったね”と思えるようになるまでには時間がかかるだろう」と述べています。

感染対策にご協力ください

田川市立病院は、筑豊地域唯一の第2種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症患者さんの入院受け入れを行っています。

感染症治療専用の設備を整えており、出入口も病棟も完全に一般診療とは分離した対応を行っています。一般の患者さんは、院内で感染患者さんと接することはありませんので、通常と変わらず安心して受診いただけます。また、当院では、外来や病棟などの感染防止対策として、様々な対策を行っています。

入院患者さんが感染した場合、重症化する可能性が高く、集団感染（クラスター）となれば地域の医療崩壊につながります。ご来院の皆さまには、ご不便をおかけしますが、以下の点についてさらなるご理解とご協力をお願いいたします。

（令和3年1月12日現在）

❶ 発熱等の症状がある方の相談・受診

発熱等の症状がある方は、直接来院せずに、まずは、**かかりつけ医に電話で相談**し、受診してください。

発熱者等への対応は一般の患者さんとは異なります。厳重な感染対策（個人防護具装着など）を行いますので、必ず事前に電話で相談してください。

❷ 外来患者さん全員への問診

無症状・無自覚の場合もある新型コロナウイルス感染症の外来からの院内感染を防ぐため、外来を受診される方全員に直近10日間に出現した症状などについての問診票の記入をお願いしています。

❸ 面会禁止

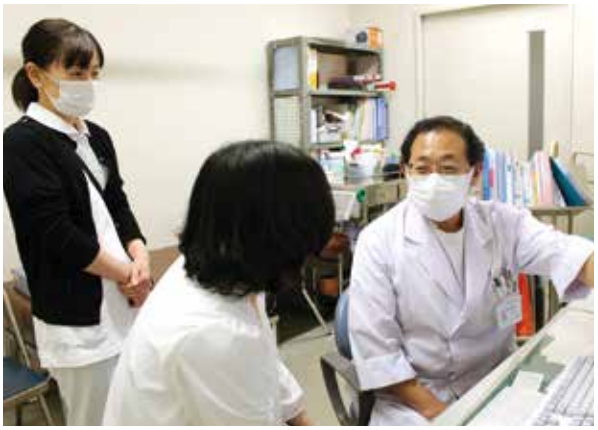
入院患者さんへの面会を禁止しています（ただし、病状等の説明など病院から依頼された場合や緊急の場合などは面会許可証を着用の上、面会を許可しています）。

入院患者さんへの荷物の受け渡し等での来院は基本1人でお願いします。院内感染防止のため、直接患者さんへの受け渡しはできませんので、病棟の看護師へお渡しください。

また、デイルームや隣接するコンビニ等で患者さんと直接対面もお控えください。

コロナ禍でも受診控えは危険です

もっと早く病院に行けばよかったと後悔しないために



■症状のある人は受診しましょう

症状があっても受診を我慢していませんか。自己判断で受診を控えることは慢性疾患の悪化、病気の進行につながります。各医療機関では感染対策を行っていますので、早く受診しておけばよかったと後悔しないためにも症状のある場合は受診しましょう。なお、発熱や咳などの症状がある方は、必ず事前に医療機関に電話で相談してください。

■健康診断を延期しないで

健診は、死亡原因の上位であるがんの早期発見や心血管疾患（心筋梗塞や脳卒中）などの予防が主な目的です。また、様々な病気の危険因子をチェックすることができます。

病気には、自覚症状が現れにくく、無症状の場合も多くあります。そのため、定期的に健診やがん検診を受けることが重要です。

■乳幼児の予防接種はタイミングが大事

乳幼児の予防接種は、各感染症にかかりやすい年齢などを踏まえて接種するタイミングが決められています。予防接種を遅らせると免疫がつくのが遅れてしまい感染症が重症化するリスクが高まります。

また、予防接種などの乳幼児健診は、医師や看護師、保健師などへの相談や、発達の確認をする機会でもありますので、必ず受けましょう。

もしもの時に地域の支えとなるために

～災害拠点病院・DMATの役割～

田川市立病院は、田川地域唯一の「地域災害拠点病院」であり、災害時の救命、緊急治療などの中心的な役割を担っています。また、DMATなどの外部支援の受け入れ拠点となることで地域での災害医療を守る役割があります。

災害時における初期医療体制の充実を図り田川の医療を守る

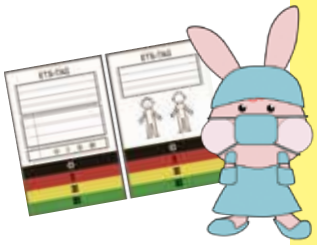
災害時の役割

- 地域の病院、災害現場、集落、避難所等の情報収集
- 地域の災害現場・病院からの患者の受け入れ
- 地域の患者の後方搬送
- 各地のDMATの受け入れ対応 など

この他、平時から田川市や消防、医師会等の各関係機関との訓練や連携、地域住民への啓蒙活動を通じて、防災活動を行います。

田川市立病院は、地域災害拠点病院としての役割の他に、田川市の「田川市地域防災計画」の中で医療班としての重要な役割も担っています。

二つの責務を発揮できるようマニュアルの整備や施設（耐震構造など）の管理・設備の整備、災害を想定した研修などを行っています。



災害時は、マンパワーも資材も限られており、重症度の高い方などから優先度をつけ治療します。

災害拠点病院とは？

地域の医療機関を支援する機能を有する病院で、重症・重篤な傷病者を受け入れるなど、災害時の医療救護活動で中心的な役割を担います。

運用体制や施設・設備など様々な用件を満たす必要があります。

災害時は人員の受け入れ拠点となり、治療に専念するため、避難所としての利用はできません。

詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

災害拠点病院には２種類ある？

基幹災害拠点病院（都道府県に1か所）と地域災害拠点病院（二次医療圏に1か所）があり、当院は、福岡県に22ある地域災害拠点病院の一つです。

大規模災害を想定した研修

災害時に拠点となる病院

田川市立病院DMATメンバー（令和3年1月12日現在）

医　　師／足立知大郎・杉修造・今村克郎・鴻江俊治
看　護　師／七呂清隆・井上真紀・井手上伸子・成清眞由美・岩下哲也
医療技術職／重藤直哉・大久保涼

詳しくはこちら

災害派遣医療チーム DMAT

DMATとは、災害急性期（概ね48時間以内）に活動できる機動性を持った専門的な研修や訓練を受けた災害派遣医療チームのことです。

自然災害・人的災害時にいち早く現地にかけつけ、広域医療搬送、病院支援、域内搬送等を行います。

田川市立病院DMAT

当院のDMATは、医師や看護師、薬剤師、臨床検査技師など11人がチームとして活動しています。日頃から災害対策マニュアルの整備や技能維持研修、実動訓練等を受け、非常事態に備えています。また、田川地域の防災教育活動（出前講座や健康講座等）や訓練等に積極的に加わっています。

平成28年4月14日に熊本県熊本地方で最大震度7の地震が発生。当院DMATは14日～16日に現地で4人が活動。

経験を活かして

●平成28年4月の熊本地震

地割れした道路を駆け抜け、地震の中で患者さんを背負って搬送しました。また、被災した病院において各地のDMAT等と連携し患者の受け入れに尽力しました（左上写真）。

●平成30年2月の線路内列車事故

出動要請から20分後にはレスキュー隊と協力し、列車の下に挟まれた傷病者の診察をするとともに病院にいるスタッフへ、すぐに治療を行えるよう連携した対応を行いました。

感染症対策チームをサポート

当院の医療体制を保ち、地域の医療を守るため、現在、奮闘する感染症対策チームをサポートしています。新型コロナウイルス感染症患者さん等への急変対応マニュアルを作成。また、個人防護具（PPE）の着脱手順（動画）を作成し周知しています。

筑豊地区総合防災訓練で各関係機関と連携し患者を診察・搬送。

地域包括ケア病棟のご案内

在宅復帰が不安な方の入院

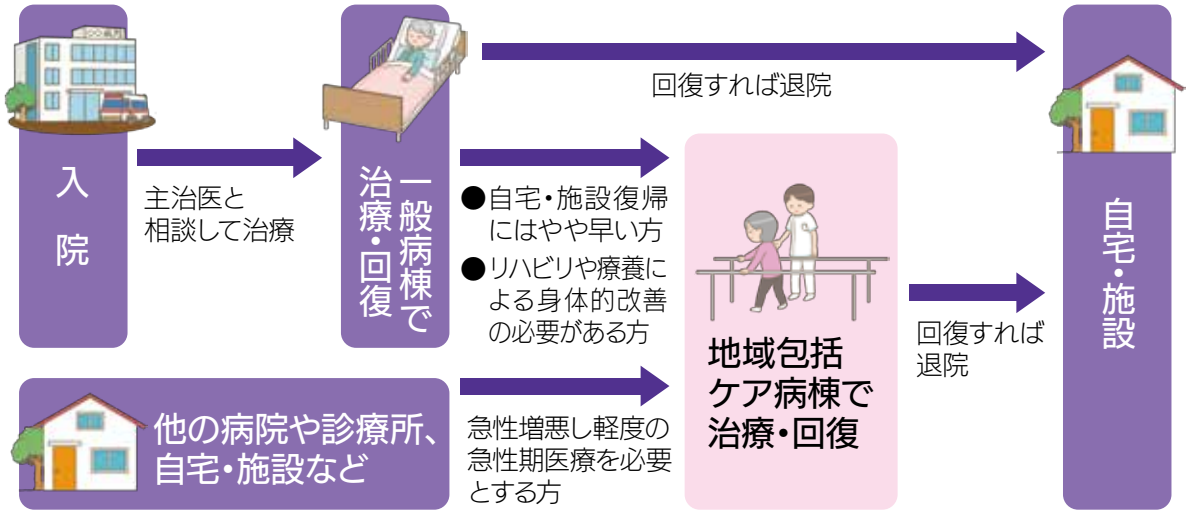
「急性期医療をほぼ終えたが、在宅復帰が心配だ」という患者さんは多くおられます。地域包括ケア病棟は、そのような在宅復帰には少し早い患者さんや退院（在宅復帰、施設入所）に向けてリハビリなどを行う患者さん、他の病院や診療所、自宅・施設で急変し軽度の急性期医療を必要とする患者さんを対象としています。

■ 在宅復帰に向けて

当院では、主治医、看護師、専従リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー（MSW）などが協力して、在宅復帰に向けた相談、治療、リハビリなどを行っていきます。

■ 入院期間

入院の必要性に応じて最大60日となります。



レスパイト入院をご利用ください

レスパイト入院は、患者さんやそのご家族の負担や疲労、ストレスを軽減し、休息していただくための短期間の入院です。

対象患者さん　継続的な医療処置の必要な方（慢性肺疾患、腎臓病、糖尿病、進行がんなど）で、主治医が入院の必要性を認めた方
※主治医やソーシャルワーカー（社会福祉士）等に相談してください。

入院期間　病状によりますが、基本的に1～2週間以内です。

申込み方法　①当院に主治医がいる方……主治医にご相談ください。
②当院以外の医療機関に主治医がいる方…主治医に相談し、当院に事前予約と紹介状を提出していただきます。

地域医療連携

地域の医療機関のご紹介12

田川市立病院では、田川地域の患者さんに安心して診療を受けていただけるよう、地域医療機関のかかりつけ医（登録医）の先生方と連携して医療を提供し、地域医療の向上に寄与するため、田川市立病院内に開放病床（5床）を設置しています。このことにより、地域医療機関での入院前の診療、当院での入院診療、退院後まで継続性のある一貫した医療を受けていただくことができます。

医療機関の紹介は、開放病床の登録（登録医）順にご紹介させていただいています。

医療法人社団NYC ひだまりクリニック

住 田川市大字糒824-20
☎ 0947-85-9765
【院長】鬼木 秀幸 先生
【診療科】内科

田川市糒にあるひだまりクリニックを平成30年2月に医療法人NYCが継承することになり3年が経ちました。

福岡県の65歳以上高齢化率ランキング(令和2年4月)で2位添田町42.5%、3位小竹町41.3%、4位香春町40.9%と筑豊地区では高齢化が進んでおり、疾病や傷病のため通院が困難な方が多くなっています。そのため当院では在宅診療、特にあらかじめ診療の計画を立て、患者さんの同意を得て定期的に(2週間に1回など)自宅や施設などに赴いて行う訪問診療を重点的に行っています。

入院医療が必要な場合は田川市立病院をはじめ、社会保険田川病院、飯塚病院など地域の病院と連携を行っています。

在宅診療が主のため外来診療は予約制となっていますが、総合内科専門医、循環器内科専門医、高血圧専門医として血管病、生活習慣病の治療なども行っています。

これからも地域の皆様の期待にお応えできるよう、スタッフ一同が心を合わせて診療に努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	備考
午前 9:00 ～12:00	●	●	●	●	●	／	土曜・日曜 祝日 休診
午後 13:30 ～17:00	●	●	●	●	／	／	

医療法人 みずき内科クリニック

住 田川市大字糒1700-338
☎ 0947-85-9078
【院長】水城 恒隆 先生
【診療科】内科、循環器内科

2012年12月に田川市立病院横に内科、循環器内科として開院致しました。開院前は市立病院にて12年間勤務させて頂き、数多くの患者さんの診療を通して臨床経験を積ませて頂きましたことを感謝しております。

現在、開院して9年目を迎えました。市立病院との病診連携も充実しており、多くの患者さんをご紹介させて頂いております。地理的好条件も加わり、安心して臨床を続けることができております。

当クリニックは私を含めスタッフ9人で毎日慌ただしく診療にあたっており、地域に密着した医療を提供できるよう日々精進しております。患者さんとも良好なコミュニケーションがとれており、全身管理を心掛け健康寿命の維持・管理に努めております。

コロナ禍の中、田川市立病院には患者さんの受け入れなど重責を担って頂いておりますことを心より感謝いたしますとともに、今後とも病診連携の更なる構築につきまして宜しくお願い致します。

診療時間	月	火	水	木	金	土	備考
午前 9:00 ～12:30	●	●	● ※	●	●	●	日曜・祝日 休診 ※水曜日 午前は 12時まで
午後 14:00 ～18:00	●	●	●	／	●	／	

令和3年1月4日現在

田川市立病院 外来診療担当医

新患 新しく受診される患者さん　再来 当院を受診され、予約をしている患者さん

診療科		月	火	水	木	金
循環器内科	新患	鍋嶋 洋裕 (産業医科大学)	塚原 慧太 (産業医科大学)	瀬戸山 航史 (産業医科大学)	宮本 太郎 (産業医科大学)	岡部 宏樹 (産業医科大学)
	再来		松島 将士 (九州大学)	絹川 真太郎 (九州大学) 瀬戸山 航史 (産業医科大学)	細川 和也 (九州大学)	–
消化器内科	新患	岸　昌廣	土居 雅宗 (福岡大学筑紫病院)	後野 徹宏	髙野 恵輔	松本 健司郎 (福岡大学筑紫病院)
	再来	–	後野 徹宏	髙野 恵輔	岸　昌廣	–
腎臓内科	新患	大仲 正太郎	–	吉田 健	北村 博雅(第1・3) (九州大学) 相原 成志(第2・4・5) (九州大学)	今村 克郎
	再来	今村 克郎	大仲 正太郎	–	–	吉田 健
	腹膜透析外来・腎不全SDM外来(療法選択)	–	吉田 健	今村 克郎	大仲 正太郎	–
糖尿病 内分泌内科	新患	–	–	[糖尿病] 横溝 久(九州大学)	–	–
	再来	[糖尿病] 佐藤 直市 (九州大学)	[糖尿病] 井上 智彰 (九州大学)	[内分泌] 井林 雄太(九州大学) 名誉院長 池田 喜彦(第4のみ)	–	[糖尿病] 井手 誠(九州大学) 【午後診療】第1・3 [糖尿病] 藤井 雅一(九州大学)
脳血管内科	新患・再来	–	–	山中 圭 (九州大学)	–	–
呼吸器内科	新患(要予約)・再来	–	田中 謙太郎 (九州大学)	–	–	–
肝臓内科	新患	–	徳松 誠 (九州大学)	–	–	–
	再来	鈴木 秀生 (九州大学)		–	–	–
神経内科	新患(要予約)・再来	–	–	福元 尚子 (九州大学)	–	–
緩和ケア内科	新患(要予約)・再来	【午後診療】(14時～15時30分) 小早川 晶	–	–	【午後診療】(14時～15時30分) 小早川 晶	–
総合診療科	新患	大木 公介	–	–	–	奥津 翔太 (福岡大学病院)
	再来		–	–	大木 公介	鈴山 裕貴
小児科	新患・再来	尾上 泰弘	金政 光	東島 理絵子	金政 光	尾上 泰弘
	再来	循環器外来(第4午後) 濱本 邦洋(非常勤) 肥満・生活習慣病外来(午後) 尾上 泰弘	新生児外来(午後) 東島 理絵子 循環器外来(第2・4午後) 山村　健一郎 (九州大学)	血液・免疫・ワクチン外来(第4午後) 大賀 正一(九州大学) (第1・3・5午後) 古賀 友紀(九州大学) 腎臓外来(第4午後) 岩屋 友香(非常勤)	–	神経外来(第1・3午後) 實藤 雅文(九州大学)
外　科	新患・再来	松隈 哲人 吉田 大輔	丸山 晴司 乳腺外来 鴻江　俊治	丸山 晴司 高橋 郁雄	松隈 哲人 吉田 大輔 血管外科外来(第2・4) 非常勤医師(九州大学)	高橋 郁雄 松隈 哲人
呼吸器外科	新患・再来	–	(第2・4) 非常勤医師(九州大学)	–	–	–
整形外科	新患・再来	久枝 啓史 新井 貴之 安達 淳貴	久枝 啓史 有田 卓史 原田 知(九州大学)	新井 貴之 杉 修造 安達 淳貴	久枝 啓史 新井 貴之 川口 健悟(九州大学)	久枝 啓史 杉 修造 有田 卓史
形成外科	新患・再来	柳澤 明宏	柳澤 明宏	柳澤 明宏	柳澤 明宏	柳澤 明宏
皮膚科	新患・再来	分山 英子	分山 英子	分山 英子	分山 英子	分山 英子
泌尿器科	新患・再来	青柳 力夫(福岡大学)	足立 知大郎	足立 知大郎	足立 知大郎	足立 知大郎
産婦人科	産科(妊婦検診)	助産師外来	藤田 拓司	遠矢 雅人	椎名 隆次	東島 弘明
	婦人科 新患 ※藤田医師の新患は予約をお願いします	東島 弘明 ※手術の場合は代行医	遠矢 雅人	椎名 隆次	東島 弘明	遠矢 雅人 【午後診療】当番医 受付時間:13時30分～15時
	婦人科 再来	–	椎名 隆次	東島 弘明	遠矢 雅人	藤田 拓司 【午後診療】藤田 拓司 受付時間:13時30分～15時
眼　科	新患・再来	永戸 天	永戸 天 和田 伊織 (九州大学)	永戸 天 向野利一郎/下川翔太郎 (九州大学)	永戸 天	永戸 天
耳鼻咽喉科	新患・再来	非常勤医師 (福岡大学)	【午後診療】 非常勤医師(産業医科大学) 受付時間:13時30分～15時30分	–	非常勤医師 (福岡大学)	【午後診療】 非常勤医師(産業医科大学) 受付時間:13時30分～15時30分
麻酔科	新患(要予約)	–	–	–	–	–
	再来	[疼痛]小山 稔(非常勤)	–	–	–	–
歯科・歯科口腔外科	新患・再来	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千

田川市立病院 TEL:0947-44-2100
外来受付時間:午前8時30分～午前11時

※診療科によって、急に休診となる場合がありますので、気軽に電話でお問合せください。

〒825-8567 福岡県田川市大字糒1700番地2 ／ TEL 0947-44-2100 ／ FAX 0947-45-0715
企画・発行 田川市立病院 経営企画課

ホームページ　Facebook　インスタグラム